

京都体育学会だより No.34

<http://www.kyoto-taiiku.com>

I 平成 22 年度事業報告

(1) 第 140 回京都体育学会

日時：平成 23 年 3 月 5 日（土）9：10～

場所：京都女子大学（J 棟 5 階 J525 教室）

参加者：63 名（会員 28 名、臨時会員 26 名、高校生特別セッション 5 名、引率教員 4 名）

研究発表：19 題（若手研究奨励賞選定対象発表 13 題，研究助成報告 1 題，一般発表 2 題，高校生特別セッション 3 題）

◆若手研究奨励賞選定対象発表 13 題

1. 運動開始時における一過性の食道温低下と皮膚温の関係
○出町耕一（京都工芸繊維大学大学院）・久米雅（京都文教短期大学）・芳田哲也・常岡秀行（京都工芸繊維大学大学院）
2. 活動部位の冷却・加温が自転車運動時の生理的反応と作業能力に与える影響
○松尾英樹（京都工芸繊維大学大学院）・久米雅（京都文教短期大学）・芳田哲也・常岡秀行（京都工芸繊維大学大学院）
3. 温熱負荷時における体温調節反応の季節差に与える生活習慣の影響
○良川諒介（京都工芸繊維大学大学院）・中井誠一・野々村真美（京都女子大学）・芳田哲也（京都工芸繊維大学大学院）
4. サイドステップのエネルギー消費
○山下大地（京都大学大学院）・進矢正宏（University of Alberta）・川上淳・藤井慶輔・山本真史・小田伸午（京都大学大学院）
5. 球技における防御者が意思決定に用いる情報とは何か—倒立振子モデルによるアプローチ—
○藤井慶輔（京都大学大学院）・進矢正宏（University of Alberta）・山下大地・小田伸午（京都大学大学院）
6. 人差し指の動作調節に及ぼすノイズ刺激の効果
○長田かおり・神崎素樹（京都大学大学院人間・環境学研究科）・萩生翔大（京都大学総合人間学部）
7. 球技選手の敏捷性評価における 505 テストの有効性
○田中潤・岡本直輝（立命館大学）・山本剛史（滋賀短期大学）
8. 異なる助走速度のスパイクジャンプにおける跳躍高に対する左右脚貢献度の変化
○徳永貴仁（京都教育大学）・榎本靖士（筑波大学体育センター）・鈴木雄太（筑波大学大学院）・杉本和那美（京都教育大学）・大宅和幸（京都教育大学大学院）
9. 小学校体育におけるタグラグビーの指導に関する課題の分析
○山本忠昭（立命館大学大学院）・深田直宏（桐生市立川内小学校）・大友智・山浦一保・小沢道紀・長積仁（立命館大学）

10. 一過性レジスタンス運動による代謝応答と長期的トレーニングによる身体適応との関係
○松谷健司・佐藤幸治・家光素行・浜岡隆文・栗原俊之・藤田聡（立命館大学）
11. 長期間のトレーニングはアキレス腱の形態や特性の変化を引き起こすか？
○佐々木竜一・栗原俊之・伊坂忠夫（立命館大学）
12. 技能レベル及び打球方向の違いによる捕球動作での足の運びの検討
○長谷川弘実（京都工芸繊維大学）・谷川哲朗・和田一宏（京都工芸繊維大学大学院）・来田宣幸・野村照夫（京都工芸繊維大学）
13. 学校体育における剣道の指導パターンの分析－体育目標との関係の検討を通して－
○橋本祐貴（立命館大学大学院）・大友智・長積仁・小沢道紀・山浦一保（立命館大学）

◆高校生特別セッション3題

1. 音楽とスポーツ
○小池亮太（京都府立向陽高等学校）
2. 中心軸動作によるトラップと二軸動作によるトラップ
○森川裕基（京都府立洛北高等学校）
3. 女子 400 mにおけるレース構成とトップ選手との比較
○西田貴和美（京都府立鳥羽高等学校）

◆研究助成報告1題

14. 高校水泳選手の推定エネルギー必要量の策定に関する実践的研究
○宮崎志帆（京都栄養医療専門学校）・岡田寛（京都府立西城陽高等学校）・野々村真美・中井誠一（京都女子大学）

◆一般研究発表2題

15. バスケットボール選手の性格をとらえたコーチングの検討
○山本剛史（滋賀短期大学）・岡本直輝（立命館大学）・穂積豊（京都教育大学）
16. 児童期における基礎的動作スキルの獲得に関する研究－第4報 基礎的動作スキルの獲得と体力・運動能力との関連－
○中比呂志（京都教育大学）・榎本靖士（筑波大学）・野村照夫（京都工芸繊維大学）・有山篤利（聖泉大学）・京都府教育委員会保健体育課

(2) 第139回京都体育学会・総会

日時：平成22年3月5日（土）15：10～

場所：京都女子大学（J棟5階 J525教室）

1) 議題

①平成22年度実施事業報告（中理事長）、②平成22年度決算報告（寄本会計理事）、③平成22年度会計監査報告（浜崎監事）、④平成23年度事業計画案（中理事長）、⑤平成23年度予算案（寄本会計理事）、⑥京都体育学会会則の一部改正案（小松崎庶務理事）、⑦京都体育学会専門分科会規程の一部改正案（小松崎庶務理事）、以上7項目について審議され、全て承認された。

①～⑤については、本稿および別紙を参照。会則および規程の改正については以下の通り。

⑥京都体育学会会則の一部改正

昭和 27 年 7 月 5 日制定施行
平成 19 年 4 月 1 日一部改正
平成 23 年 4 月 1 日最終改正

新	旧
<p>1～2. 省 略</p> <p>3. この会に専門分科会を置くことができる。専門分科会に関し必要な事項は別に定める。</p> <p>4. 省 略</p> <p>5. 会員は正会員、購読会員および臨時会員とする。正会員になるには正会員の紹介と理事会の承認を要する。臨時会員の資格は、資格取得の当該年度内のみとする。</p> <p>6. 会員が退会しようとするときは、退会届を会長に提出しなければならない。</p> <p>7. 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の議決を経て、会長が除名することができる。</p> <p>(1)本学会の名譽を傷つけ、又は目的に違反する行為があつたとき (2)本学会の会員としての義務に違反したとき (3)会費を2年以上滞納したとき</p> <p>8. 会員は、次の事由によってその資格を喪失する。</p> <p>(1)退会したとき (2)死亡し、または失踪宣告を受けたとき (3)除名されたとき</p> <p>9～27. 省 略 (ただし項番号+3)</p> <p>28. この会則は、平成 23 年 4 月 1 日から実施する。</p> <p>記 削 除 臨時会員年額 1,000 円</p>	<p>1～2. 省 略</p> <p>3. この会に専門分野を置くことができる。</p> <p>4. 省 略</p> <p>5. 会員は正会員および購読会員とする。正会員には学生会員をおくことができる。正会員になるには正会員の紹介と理事会の承認を要する。</p> <p>6～24. 省 略</p> <p>25. この会則は、平成 19 年 4 月 1 日から実施する。</p> <p>記 学生会員年額 1,000 円</p>

⑦京都体育学会専門分科会規程の一部改正

昭和 41 年 制 定
平成 13 年 一部改正
平成 23 年 4 月 1 日最終改正

新	旧
<p>1～4. 省 略</p> <p>5. 各分科会には申し出があつた場合、1 事業につき年 30,000 円を上限として補助する。</p>	<p>1～4. 省 略</p> <p>5. 各分科会には申し出があつた場合、年 6,000 円を補助する。</p>

2) 報告

①会員動向(小松崎庶務理事)平成 23 年 3 月 1 日現在の会員数 307 名(京都体育学会のみ会員 24 名, 純増 8 名)

②学会誌編集状況報告(野村編集委員長)

③その他

i) 京都体育学会研究基金学術研究助成の内定

- 黒澤寛己(京都府立塔南高校)・横山勝彦(同志社大学)・有山篤利(聖泉大学)『中学校保健体育科「武道必修」に向けた柔道指導案の作成－「体育の武道」をめざして－』
- 千代恭司(京都府立向陽高校)・来田宣幸(京都工芸繊維大学)・谷川哲朗(京都工芸繊維大学大学院)・山下大地(京都大学大学院)『生徒からみた京都府立高校Ⅲ類(体育系)における卒業研究の意義と課題－これまでに実施された卒業研究の分析および卒業研究の過程を通じた高校生の変化－』

ii) 学会賞（論文賞，若手研究奨励賞）の発表と表彰（中理事長，中井会長）

・論文賞：該当論文なし

・若手研究奨励賞：

○出町耕一（京都工芸繊維大学大学院）・久米雅（京都文教短期大学）・芳田哲也・常岡秀行（京都工芸繊維大学大学院）『運動開始時における一過性の食道温低下と皮膚温の関係』

○藤井慶輔（京都大学大学院）・進矢正宏（University of Alberta）・山下大地・小田伸午（京都大学大学院）『球技における防御者が意思決定に用いる情報とは何かー倒立振子モデルによるアプローチー』

(3) 第 140 回大会記念講演会

日時：平成 23 年 3 月 5 日（土）14：40～15：00

場所：京都女子大学（J 棟 5 階 J525 教室）

『京都体育学会のあゆみ』 芳田哲也先生（京都工芸繊維大学）

(4) 専門分科会の活動

①運動生理・バイオメカニクス（世話人：小田伸午，榎本靖士，来田宣幸）

< 京都若手研究交流会 2010 >

日時：平成 22 年 12 月 23 日（木）12：00～18：00

場所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館・PLAZAKIT

1. 「倒立振子モデルを用いた方向転換走における観察者の予測メカニズムの推定」藤井慶輔（京都大学）
2. 「200m バタフライのレース中におけるストローク動作の水中期・空中期所要時間の変化」繆尚樹（大阪教育大学）
3. 「捻転動作の学習が他の投動作に及ぼす影響」大宅和幸（京都教育大学）
4. 「大学新入生における健康度の実態調査」大前みなみ（京都工芸繊維大学）
5. 「ラクロスの投球動作における上肢のキネマティクスの研究」荒木真徳（京都大学）
6. 「競泳 2 0 0 m バタフライにおけるレース中の呼吸頻度とパフォーマンスの関係」園田玲子（大阪教育大学）
7. 「時間への注意回数が主観的時間に及ぼす影響について - 安静時と運動時の違いに着目して -」田村晃大（大阪教育大学）
8. 「走運動における曲線の影響と曲線走行時の姿勢の評価」和田一宏（京都工芸繊維大学）
9. 「到達把持運動開始時の指間距離および対象物までの距離が把持運動の再組織化に与える影響」山本真史（京都大学）
10. 「陸上競技の曲線路スプリント走における主観的努力度とパフォーマンスの対応関係」豊島陵司（大阪教育大学）
11. 「バスケットボールにおけるパスの正確性について」大森勇（大阪教育大学）
12. 「気泡が競泳スタートに与える影響」谷川哲朗（京都工芸繊維大学）
13. 「横方向における移動運動の生理学特性と様式変容の関連性」山下大地（京都大学）
14. 「月経と水泳に関する知識と意識の現状 - 月経と水泳の講義の重要性について -」川西英里香（大阪教育大学）
15. 「野球の守備におけるゴロ捕球でのフットワークについて」長谷川弘実（京都工芸繊維大学）

16. 「ラクロス競技における道具を用いた走運動」 金澤悠（京都大学）
17. 「サッカーのキック時における視線の方向と正確性について～インサイドキックに焦点をあてて～」 藤原篤史（大阪教育大学）
18. 「無意識におけるラテラリティと陸上競技におけるラテラリティとの関連」 森洋貴（大阪教育大学）
19. 「部活動とリーダー意識～中学生～」 宮脇希（京都工芸繊維大学）
20. 「Internalloop と Externalloop に着目した雑音環境下における発話の変化の検討」 鈴木茉莉緒（京都大学）
21. 「サッカーのドリブル走における主観的努力度と客観的計測量の関係について」 鳥尾広輔（大阪教育大学）
22. 「少年ラグビーにおけるタックルの様相について」 石井悠太（大阪教育大学）
23. 「異なる助走速度のスパイクジャンプにおける跳躍高に対する左右脚貢献度の変化」 徳永貴仁（京都教育大学）

②体育経営管理（世話人：中比呂志）

日時：平成 23 年 2 月 12 日（土） 13：00～17：20

場所：京都教育大学 1 号館 C 棟 2 階 C6 教室

1. 「中学校運動部員の部活動ストレスに関する研究」 柴田奈生子（京都教育大学）
2. 「小学校の陸上運動における系統性を重視した指導内容の検討」 富井裕平（京都教育大学）
3. 「小学校器械運動における指導内容の系統性に関する研究- 技の指導体系と段階的指導の視点から -」 田中奏来（京都教育大学）
4. 「スポーツアスリートのブランド価値- 消費者ベースのブランド価値モデル -」 大田祐輝（びわこ成蹊スポーツ大学）
5. 「スポーツファンとブランド・コミュニティ- プロスポーツのファン・コミュニティに着目して -」 國井祐利（びわこ成蹊スポーツ大学）
6. 「スポーツボランティアの継続- 社会的アイデンティティと職務満足に着目して -」 高井啓伍（びわこ成蹊スポーツ大学）
7. 「スポーツオンラインカスタマイゼーション-NIKEiD に着目して -」 田中翔子（びわこ成蹊スポーツ大学）
8. 「びわこ成蹊スポーツ大学サッカー部と KIRIN のスポンサーシップパートナーシップについて」 本田陽一（びわこ成蹊スポーツ大学）
9. 「サッカーマガジンにみる W 杯日本代表に関する報道の変化について」 久末純可（びわこ成蹊スポーツ大学）
10. 「J リーグ観戦者のホームタウン活動に対する意識- ヴィッセル神戸に着目して -」 左子義則（ヴィッセルカレッジ）
11. 「京都への地域愛着とプロスポーツの認知度に関係はあるのか？- ソーシャルメディアを用いたインターネット調査 -」 石井貴大・森恵太・森永純平・中塚さゆり・大森友莉（同志社大学）
12. 「都市型市民マラソンのDESTINATION・イメージ研究- 奈良マラソン 2010 参加者調査 -」 増田彩乃・浮田瞳・河村真也子・辻田晃平・宮川敬史（同志社大学）

(5) 平成 22 年度京都体育学会理事会

第1回：平成22年4月27日（火）18:30～19:45、場所：京都女子大学

議題：1. 平成21年度事業の総括と平成22年度事業計画 2. 理事の役割分担 3. 日本体育学会・学会大会のあり方についての調査依頼 4. Webを活用した広報活動の強化 5. 学会理事交代案内の送付 6. 第140回学会大会担当大学の選定 7. 東京体育学会との研究交流事業 8. 平成22年度理事会開催予定

第2回：平成22年7月13日（火）18:30～19:35、場所：京都女子大学

議題：1. 第140回京都体育学会大会 2. 講演会の開催 3. 京都体育学研究第26号編集状況

第3回：平成22年9月21日（火）18:30～20:00、場所：キャンパスプラザ京都

議題：1. 第140回京都体育学会大会 2. 講演会の開催

第4回：平成22年11月25日（木）18:30～20:15、場所：キャンパスプラザ京都

議題：1. 第140回京都体育学会大会 2. 講演会の開催 3. 専門分科会活動 4. Webを活用した広報活動 5. 東京体育学会との研究交流 6. 学会大会名称

第5回：平成23年2月28日（月）18:30～19:45、場所：京都ルネサンスビル

議題：1. 第140回京都体育学会大会および平成22年度京都体育学会総会の役割分担と進行 2. 平成22年度会計報告、会計監査および平成23年度予算案 3. 専門分科会活動 4. Webを活用した広報活動 5. 他学会等との研究交流 6. 60周年記念事業 7. 第141回京都体育学会大会

第6回（役員会）：平成23年3月5日（土）12:10～13:10、場所：京都女子大学

議題：1. 平成22年度実施事業、決算および会計監査報告 2. 平成23年度事業計画案および予算案 3. 平成22年度総会議案および役割分担 4. 平成23年度学術研究助成の選考結果 5. 平成22年度学会賞の選考結果 6. 京都体育学会会則の一部改正案 7. 京都体育学会専門分科会規程の一部改正案

(6) 基金活用による事業

1) 第3回京都体育学会研究助成（上記（2）の2）の③のi) 参照）

(7) 京都体育学研究（第26巻）平成22年12月発行

II 平成22年度決算報告【別紙1】

III 会計監査報告【別紙1】

IV 平成23年度事業計画

(1) 第141回京都体育学会大会・総会および理事会の開催

(2) 京都体育学会大会講演会の開催 ①共催講演会、②スポーツ実践研究会

(3) 京都体育学研究 第27巻発行（平成23年8月発行予定）

(4) 基金の活用に関する事業（研究助成等）

(5) 専門分科会の活動（各専門分科会の世話人から発信）

- (6) 京都体育学会 60 周年 (2012 年) 記念事業準備委員会の設置
- (7) 京都体育学会ホームページの開設
- (8) 平成 24-25 年度京都体育学会役員選挙

V 平成 23 年度予算【別紙 2】

VI その他

(1) 会員の動向

平成 19 年 3 月 1 日現在	283 名 (京都体育学会のみ 19 名)
平成 20 年 3 月 1 日現在	295 名 (京都体育学会のみ 21 名)
平成 21 年 3 月 1 日現在	288 名 (京都体育学会のみ 19 名)
平成 22 年 3 月 1 日現在	299 名 (京都体育学会のみ 22 名)
平成 23 年 3 月 1 日現在	307 名 (京都体育学会のみ 24 名)

事務局・庶務関係連絡先のお知らせ

京都体育学会事務局

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1 京都教育大学体育学科
中比呂志 (京都体育学会理事長)

TEL : 075-644-8280, E-mail:gori@kyokyo-u.ac.jp

小松崎敏 (京都体育学会庶務担当理事)

TEL : 075-644-8285, E-mail:koma@kyokyo-u.ac.jp

京都体育学会ホームページができました

<http://www.kyoto-taiiku.com> (きょうと - たいいくドットコム)

info@kyoto-taiiku.com (インフォ@きょうと - たいいくドットコム)

平成 23 年度事業として計画しておりました京都体育学会ホームページについて、平成 23 年 2 月に開設、7 月に移転が完了しました。今後コンテンツ等の充実につとめ、会員のみなさまに対する情報提供の場として活用していきたいと考えております。

投稿規定等が変わりました

2010 年 3 月に開かれた京都体育学会総会にて、京都体育学研究投稿規定および執筆要領の改訂が承認されました。新しい投稿規定やその他の資料は本巻に掲載されています。また、学会ホームページからもダウンロードできますので、ご参照ください。

事務局からのお願い

※会費の納入について

日本体育学会会員は 12,000 円（京都体育学会会費 2,000 円を含む）を日本体育学会事務局へ納入して下さい。自動払込制度を利用されている会員は、7 月上旬に引き落としとなります。新会員の方は自動振込手続きをとって下さい。

京都体育学会だけに所属する会員は、2,000 円を下記口座に納入して下さい。

郵便振替口座番号：01070-7-23829 加入者名：京都体育学会

日本体育学会及び京都体育学会入会の手続きについては、事務局（庶務担当理事）までご連絡下さい。また、会員の所属、住所（電話）などに変更が生じた場合にもご連絡をお願い致します。

※日本体育学会年会費の自動引き落としタイミングは、年4回（7月、11月、2月、4月）です。引き落としができない場合には、退会者扱いとなり、学会大会案内や体育学研究所の送付が停止されますのでご注意ください。

論文募集

「京都体育学研究」第 28 巻の論文を募集します。投稿規定・執筆要項に従って投稿して下さい。会員皆様の投稿をお待ちしております。

論文投稿先（編集委員会連絡先）

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 1

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科・応用生物学部門 野村照夫研究室

TEL/FAX：075-724-7741, E mail: nomura@kit.jp
